

桜竹梅

平成31年 新春号



発行所 医療法人 仁栄会
〒780-0066
高知県高知市比島町4丁目6番22号
TEL 088-823-2285
FAX 088-824-2363
発行者 島津 栄一
ホームページ
<http://www.shimazuhp.jp/>



ご挨拶

院長 三宅 晋

2019年が始まりました。今年が平成最後の年で、今年中に年号が変わることとなります。西暦1989年1月7日昭和天皇崩御当日、当時の故小渕恵三官房長官が「平成」と書かれた生乾きの二文字を掲げられた姿が、ほんの昨日のように思い浮かべられます。年末のテレビはどの局でも平成の世、30年間の懐かしい風景や、事件、厳しかった自然災害の痛ましい画像を連日放映していました。平成28年8月8日、天皇陛下が

2019年5月1日に生前退位の意向表明をされて、今年5月には改元が行われます。しかし、平成28年8月から2年以上の長い時が経っていますが、新しい年号についてはいまだ公表がないとはいかかなものでしょう。今年のカレンダーは「年号無し」のものになりそうな心配が出てきました。それでも戦時中に生まれた世代にとっては、「新しい年号に代る年」と思うだけでも何かワクワクし、3代の御代を生きられることだけで幸せを感じるのではないのでしょうか。ただ私にとっては、故郷を離れてから長い年月が経ち、一抹の寂しさを感じずにはおれません。

前にも書いた記憶がありますが、昭和54年2月、前任者の交代として短期間だけ高知県立中央病院へ赴任するようにと教授からいわれ、水島港から丸亀フェリーに乗って、自分で車を運転し、ほぼ5時間かけて四国山脈を越え、高知にたどり着いた当時のことを思い出します。その当時は高速道路もなく、旧道での四国山脈の横断で、池田、大歩危、小歩危、大豊と、山と厳しい断崖絶壁、急な斜面に点在する集落やその谷間の岩と木々しか視界に入らない、とてつもなく淋しく遠い道でした。土佐山田の当たりに来てやっと四国山脈を越えられた安堵から、わき道に車を止め一息入れることができました。今は亡き母親が詰めてくれた弁当を一人で口にし、眼下に目にする高知の街並みを見下ろしながら、学校で習った、紀貫之とか、都落ちする公家さんの気持ちを感じました。寂しさや、不安・期待が入り混じり複雑な気持ちになったのを今では懐かしく思い出します。当時は家内も通常勤務していましたので、単身の赴任でした。あれから高知の地で延々40年もの歳月が流れようとは、夢にも想像すらいたしませんでした。時のたつのは、とてつもなく長くもあり、また一瞬のように感じます。この40年間、故郷へ帰って家を継ぎ、代々の墓を守っていくか、今の高知の生活を続けていくか、悩ましい毎日が続いていました。今から約7年前、望郷の念は捨てがたく、誰も住まなくなった、築百年以上になる古い家を倒し、自分の老後のためにと、新しく家も建て直しました。しかし、いまだ生む主もなく空き家のままです。新しい家に風を入れるためだけに2~3か月ごと帰省している状態が続いております。時の流れとともに、最近では世代交代が進み、帰省して近所の方々と会う機会があっても、どこの誰かわからないことが多く、小学生時代に一緒に通学していた同級生の名を尋ねたら、なくなっていたことさえもあります。故郷には知った同世代の人が少なくなり、遠く故郷を離れている自分の孤独感と疎外感に愕然とすることが多くなりました。昔、「高知に骨を埋める」と言ったら亡き父親にこっぴどく叱られたことがあります。子供のころはいつも叱られてばかりでしたが、成人して父親に叱られたのはこれが初めてで最後でした。故郷に帰るべきか、高知に留まるべきか決心がつかなくて今に至っています。今では、帰ることに反対していた高知で生まれた子供達はみなそれぞれ独立し、結婚し、巣立っていきました。反対するものがなくなった今は、家内は帰ることを前提に考えているようで、家のソファや机が古くなり買い替えようと話をすると、もう帰るのだからといつも拒否されます。根無し草のように、昭和、平成それに今年の新しい元号の年、三代にわたって故郷を離れているわびしさ。ヤシの実の歌にも似て「いつの日にか、国へ帰らん。」私自身は、その決心すらついてないも悶々とする毎日です。

新しい年、新しい元号の年が、皆様に実りあり幸いの年となりますように、私にとっても決断の年になりますように祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

地区合同防災訓練に参加致しました

総務課 山崎 元武

平成30年10月14日(日)に比島交通公園にて、地区合同防災訓練が開催されました。

島津病院からは60名程の職員が訓練に参加致しました。

当日の空は晴れて過ごしやすく、子供連れの家族からご高齢の方まで、大勢の方々が参加しており、大変活気溢れる訓練になりました。

さて、今回の訓練で開催されたブースの一部についてご紹介させていただきます。

・簡易担架・倒壊家屋からの救出

簡易担架では、実際に担架に人を乗せて運ぶ体験や、自分が担架に乗って運んでもらう体験ができました。又、竹の棒と毛布で即席の担架を作る方法を教えていただきました。

倒壊家屋からの救出では、ボールと添え木を使って梃子の原理で倒壊家屋に隙間を作り、ジャッキを使って倒壊家屋から人形を救出しました。



・炊き出し

職員や地区の方が作った、無洗米で炊いたご飯とお味噌汁を頂きました。

お米は上手に炊けており食べやすく、美味しく食べることができました。



・起震車

東北大震災の際、宮城県で起きた地震を再現した揺れを体験することができました。

椅子に座った状態で、震度6の揺れを体験しましたが、机に掴まり体勢を保つだけで精一杯で、地震の恐ろしさを改めて体験できました。



・煙体験

煙を発生させたテントの中を通過する体験でした。

煙の濃さは、伸ばした自分の手が見えないほどで、煙の中、自力で脱出する困難さが良くわかりました。

**・はしご車**

島津病院本館の屋上からはしご車で救出される体験でした。

職員が救出される際、はしご車が揺れている様が見て取れましたので、怖いと思いましたが、万が一、屋上に避難した際でも、はしご車で救出できることがわかりました。

**・ボート空気入れ・発電機運転**

島津病院に脱出用のボートがあることを知りました。

空気を入れたり、組み立てたりするには、職員3~5名で作業して10分程時間が掛かることがわかりました。

発電機は、スイッチを回して、ワイヤーを勢い良く引くだけで発電できました。

被災時に体力を使うことなく電気を使用できるので、とても便利だと感じました。



今回の地区合同防災訓練では、日常では体験できない貴重な体験をすることができました。実際に災害に遭遇した際に活かせる様に、日々意識して職務にあたりたいと思います。

慰安旅行 台湾

1病棟看護師 坂井 里歩

10月12～14日の3日間、台湾へ行ってきました。貸し切りバスで高松空港まで行き、出国手続き等を済ませ直行便で台北まで行きました。機内食を食べ、あっという間に台北に着きました。



空港へ到着し、現地のガイドさんと合流し十分、九分を観光しました。2日に1回の確立で雨が降る地域だそうで、残念ながら私たちは雨の中での観光となりましたが灯籠上げ体験や美味しい台湾料理も食べることで楽しかったです。

2日目は免税店、故宮博物院へ行きました。博物院は普段みることのない伝統のある置物や高価な陶器などがありました。夜は士林夜市を観光しました。

ホテルに帰ってからは、ちょうど旅行の日が誕生日だった私に同期や透析室の方々からサプライズをしてもらいびっくりしました。美味しいケーキと、プレゼントありがとうございました😊❤️

自由時間はタクシーや地下鉄を利用し、夜市や買い物などをして夜中まで台湾を満喫しました。他の先輩方は、台湾マッサージへ行ったと聞き私も次回台湾へ行っるときにはマッサージへ行ってみたいと思いました。

あっという間の3日間でしたが、美味しい物も食べて買い物もできてとても楽しかったです。旅行中お世話になったガイドさんや職員の方々、3日間ありがとうございました(´_)/



台湾料理と台湾ビールで乾杯!



色々な種類の小籠包を食べました!

学術奨励賞を受賞しました

臨床工学科 仙波 大英

平成30年10月28日に高知県のサザンシティホテルで開催された第52回四国透析療法研究会に参加し演題発表してきました。毎年開催地は四国四県を順番に回っていきませんが、今年は高知県が開催地でした。今回発表した内容は「当院における静注カルシウム受容体作動薬エテルカルセチドの使用経験」です。

タイトルだけみると何のことか分かりづらいですが、簡単に言うと今までは経口薬しかなかったカルシウム受容体作動薬ですが、新たに静注薬が販売されたわけです。つまり患者さんに忘れずに飲んでねとしか言えなかったのが、透析中にスタッフが投与することによって飲み忘れる心配がなくなりました。

話は変わりますが、四国透析療法研究会には学術奨励賞というのがあり学術奨励賞候補演題の中から学術奨励賞が選出されます。今回、臨床工学技士のセッションは3セッションあり(全部で16演題)、当院からは私と小松晋也君、和田圭史君がエントリーされていました。ちなみに4年前に高知県で開催された四国透析療法研究会では当院の浅野弘嗣さんが受賞し、去年愛媛で開催された四国透析療法研究会では後輩の原大樹君が受賞しています。

いざ結果発表。会場の廊下に学術奨励賞候補演題のリストが貼り出されていました。

恐る恐る見ると私の演題番号に赤丸がついているではありませんか。

なんと学術奨励賞に選出されました。

今後も日常業務に加え研究発表も頑張りたいと思います。



グルーブホーム やすらぎ

☆紙芝居



よさこいラクダヨガクラブの方が来てくださり紙芝居、歌、笑いヨガ体操を利用者様と一緒に行いました。歌を一緒に唄ったり手足を元気に動かされ楽しい時間を過ごされました。

☆夢一座



夢一座の方が来られました。グルーブホームからも職員が2名ほど参加されました。歌や演舞を存分に楽しまれ、とても良い1日になりました。

☆お誕生日会



15時のティータイム時にお誕生日会を行いました。皆でバースデーソングを唄いロールケーキを食べました。プレゼントを渡した際に「ありがとうね。大事に使うき」と笑顔で言われ喜ばれていました。

日本腎不全看護学会へ参加して

4階2病棟 看護師 岸田 椋

今回私たちは11月10日～11月11日に長野県で開催された日本腎不全看護学会へ参加してきました。学会への参加は今回が初めてでたくさんの人に圧倒され、かなり緊張しました。

会場では色々な講演が開催されており、私たちはポスター発表をしました。様々な分野のポスターが掲示されており、グループごとに分かれ発表していきました。発表は中山看護師が行い、沢山の人達に囲まれながらでかなり緊張したと思いますが、練習通り詰まることなくスムーズに無事発表を終えることができよかったです。

また長野県で有名な善光寺へ参拝に行きました。朝早くからたくさんの参拝者がおり驚きました。善光寺周辺にはたくさんのお店がありました。その中でそば粉クレープがあり食べてみると普段食べているクレープより厚くもちもちとしていておいしかったです。

アンケート回答やポスター作成を沢山の方に協力して頂きありがとうございました。今回経験したことや学会で学んだことを実際の看護に生かせるように頑張っていきたいと思います。



第21回 The 21st Annual Meeting of the Japan Academy of Nephrology Nursing

日本腎不全看護学会学術集会・総会

会期 2018年 11/10(土)・11(日)

会場 ホクト文化ホール (長野県県民文化会館)

大会長 赤津 サトミ (医療法人 鈴木泌尿器科)

おいでなして
ながの!

紡ぎ織りなす
腎不全看護の絆

©善光寺

書籍
紹介

森 惟明 編著

『サクセスフルエイジングへと 導く50の答え』

発行：幻冬舎メディアコンサルティング

ISBN978-4-344-91485-8

C2040 ¥1200E

定価(本体1200円+税)
発行:幻冬舎メディアコンサルティング
発売:幻冬舎



9784344914858



1922040012005

編者
● 森 惟明
● 梶川 博
● 梶川 咸子
サクセスフルエイジングへと導く50の答え

森 惟明
編者
梶川 博
梶川 咸子
著

サクセスフル エイジングへと 導く50の答え

幻冬舎
MM

「物忘れするのは認知症？」

「めまいがするのは悪い病気？」

「周りに迷惑をかけて生きるのが心苦しい」

「高齢者が異性を意識するのはおかしい？」

「孫に『おじいちゃんは臭い』と言われる」

こんな悩みもスッキリ解決！

からだ
社会生活の健康
こころ

からだ こころ 社会生活
の健康が快適な老後のカギ
医師であり高齢者でもある
著者らによるQ&A集



定価(本体1200円+税)

サクセスフル エイジングへと 導く50の答え

Q1 病院へ行き、お医者さんを目の前にすると、緊張してうまく質問ができません。帰ってきて「わからないことを聞けばよかった」と後悔することがあります。よい方法がありますか？

A 病院に行く前に、症状に関する質問などをメモしていきましょう。

最近、患者さんの意思を尊重する医療が主流となり、患者さんも主体的、能動的に治療を受けなければならなくなってきました。わが国でも「インフォームドコンセント(説明の理解と同意)」や「インフォームドチョイス(説明の理解と選択)」という考えが根付いてきました。すなわち、医師から現在行われている治療法の利害得失(効果と危険性)の説明を受け、十分納得し、どの治療法を選択するかを決めるというものです。わからないことは、遠慮せずに聞きましょう。家族に付き添ってもらってもよいかもしれません。

生命の危険を伴うような治療法をすすめられ、同意しかねる場合には、ほかの医師に治療法について意見を求める「セカンドオピニオン」が必要なこともあります。

治療法を選択するに当たっては、最良の研究成果、医師の臨床経験や技能、患者さんの価値観の三つを統合して行う医療が賢い選択と思われます。患者さんも自分の病気について勉強して、本で読んでわからなかったことなどをメモしておいて、医師にいろいろ質問してください。

私たちは、患者さんに他医を紹介するときには、「お世話になる先生を信頼し、わからないことがあれば納得がいくまで質問して治療を受けるように」とすすめています。東京都医師会が“医者にかかる10箇条”を提唱していますので参考にしてください。(表)

(表) 医者にかかる10箇条

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ① 伝えたいことはメモして準備 | ⑥ その後の変化も伝える努力を |
| ② 対話の始まりはあいさつから | ⑦ 大事なことはメモをとって確認 |
| ③ よりよい関係づくりにはあなたにも責任が | ⑧ 納得できないときは何度でも質問を |
| ④ 自覚症状と病歴はあなたの伝える大切な情報 | ⑨ 治療効果を上げるためにお互いに理解が必要 |
| ⑤ これからの見通しを聞きましょう | ⑩ よく相談して治療方法を決めましょう |

(東京都医師会「賢い患者さんのお医者選び」https://www.tokyo.med.or.jp/counseling/primary_care/dr_choice/09.phpより引用)



URL <http://www.geocities.jp/morikoreaki/>

外来診察表

(平成30年12月31日現在)

午前 (9:00~12:00)

診察科	月	火	水	木	金	土
内科	三宅・大崎(多) 松村	大崎(史)・大崎(多)	三宅・大崎(史)	岩崎泰正(高知大学) 安富	大崎(史)・大崎(多)	三宅・大崎(史)
消化器内科				【第1・第3・第5】 岩崎信二(高知大学)	矢野(高知大学)	
外科	島津	酉家(佐)	武田	酉家(佐)	島津	武田
整形外科	島津(裕)	島津(裕)	兼松	兼松	兼松	兼松
脳神経外科	森				森	
泌尿器科 血尿外来						井上(高知大学)
循環器内科		小田(予約制)	小田(予約制)			

午後 (14:00~18:00)

診察科	月	火	水	木	金	土
内科	三宅・大崎(史)	大崎(史) 安富 16:00まで	三宅・大崎(史)	三宅 安富 16:00まで	三宅	
消化器内科						
外科	岩部(高知大学)	酉家(佐)	北川(高知大学)	武田	酉家(佐)	
整形外科	島津(裕) (島津)	島津(裕)	兼松	兼松	兼松	
脳神経外科						
泌尿器科 血尿外来						
循環器内科		小田(第1,2,3,4休診) 第5のみ予約制	小田(予約制)			
放射線科				久保田(高知大学) (所見のみ)		

- 三宅院長(内科)は午後から不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 担当医が不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 休診日は土曜の午後・日曜・祝祭日・年末年始です。

患者様の権利

- 一、個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- 二、安全で良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 三、個人のプライバシーが守られる権利および私的なことに干渉されない権利があります。
- 四、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについて、わかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。
- 五、自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意思を表明し、自ら決定する権利があります。
- 六、自分が受けている医療について、知る権利があります。
- 七、自ら選んだ医療機関で、セカンドオピニオンを受けることができます。
- 八、患者様自らが、医療従事者と共に力をあわせて、これらの権利を守り発展させる責任があります。

医療理念

「病む人への思いやりをもって、安全で安心のできる高度な医療を提供します。」

医療方針

- 一、心ある医療を介護サービスと連携して提供し、地域社会に貢献する。

- 一、生きることへの共感、病む人への思いやりをもって、医療に従事する。

- 一、当院の専門としている医療部門においては、医療レベルの向上に努力し、先進的医療を提供する。

セカンドオピニオンの指針

セカンドオピニオンの前提は、患者様の権利（自己決定と選択自由の権利）の尊重にあり、当院では以下の通りセカンドオピニオンの指針を定めます。

1. 当院にセカンドオピニオンを希望される場合
 - (一) 担当医の紹介状、検査結果、レントゲン写真、病理診断結果等、診断に必要な資料を持参していただきます。
 - (二) 患者さまご本人が受診することが、原則となります。
 - (三) セカンドオピニオンの結果は、患者さまご本人に説明するとともに、紹介状の返書として、担当医にお知らせします。
 - (四) 検査や治療を行わない、相談のみの場合は自費診療として三十分につき一万八千円を申し受けます。
2. 他の医療機関にセカンドオピニオンを希望される場合
 - (一) 受診する医療機関名（できれば医師名）を特定して、紹介状を作成します。
 - (二) 検査結果、レントゲン写真、病理組織材料など、診察に必要な資料を提供します。
 - (三) 個人情報保護を考慮し、紹介状と資料は、患者さまご本人にお渡しします。
 - (四) 紹介先が示したセカンドオピニオンは、当院からの紹介状への返書として受け取り、以降の当院での治療方針や検査の選択については、患者さまご本人の意思を尊重し行います。

患者および職員などの個人情報保護に関する規程「基本理念」

（院内規程の目的）

当院の全職員は、この「院内規程」及び「個人情報の保護に関する法律」「同施行令」厚生労働省「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」（平成二十九年四月十四日改定）に基づき、患者および職員などに関する個人情報や適切に取り扱い、患者および職員などから信頼される医療機関であるよう、たゆまぬ努力を続けていくものとする。

（他の院内規程等との関係）

当院における個人情報の取り扱いに際しては、この院内規定のほか、当院の「診療情報の提供に関する規定」も適用されるものとする。診療情報の提供について疑義がある場合には、前段に挙げた規定のほか、日本医師会「診療情報の提供に関する指針」ならびに厚生労働省「診療情報の提供等に関する指針」も参照するものとする。

（守秘義務）

すべての職員は、その職務の如何を問わず、当院の従業者として、職務上知り得た患者及び職員などの個人情報を、正当な事由なく第三者に漏らしてはならない。当院を退職した後においても同様とする。すべての職員は、この義務を遵守することを書面によって誓約しなくてはならない。



診療時間	診療科目
月～金 9:00～12:00 14:00～18:00	<ul style="list-style-type: none"> ・外科 ・内科 ・リウマチ科 ・糖尿病内科 ・消化器外科 ・消化器内科 ・脳神経外科 ・泌尿器科 ・人工透析内科 ・人工透析外科 ・腎臓内科 ・肛門外科 ・皮膚科 ・整形外科 ・循環器内科 ・リハビリテーション科
土 9:00～12:00	
日・祝祭日 休診	
併設事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーション ・居宅介護支援 	

関連医療・介護機関			
医療法人 仁栄会 島津クリニック	〒785-0013	高知県須崎市西古市町3番15号	TEL.0889-43-0003
医療法人 仁栄会 島津クリニック比島	〒780-0066	高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6230
医療法人 島津会 幡多病院	〒787-0013	高知県四万十市右山天神町10番12号	TEL.0880-34-6211
医療法人 成仁会 快聖クリニック	〒780-8050	高知市鴨部1085番地1	TEL.088-850-0038
グループホーム つくしの里	〒780-8050	高知市鴨部1079番地1	TEL.088-850-0083
グループホーム やすらぎ	〒780-0065	高知市塩田町19番26号	TEL.088-875-3500
グループホーム かがやき	〒787-0014	高知県四万十市駅前町5番20号	TEL.0880-31-0607
小規模多機能型居宅介護 ひじま	〒780-0066	高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6232
小規模多機能型居宅介護 しおた	〒780-0065	高知市塩田町19番26号	TEL.088-875-3718
住宅型有料老人ホーム ひじま	〒780-0066	高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6233
特定施設 みやびの里	〒780-0066	高知市比島町4丁目6番9号	TEL.088-822-8855
小規模多機能型居宅介護 おおがた	〒789-1931	高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号	TEL.0880-43-1023
高齢者専用賃貸住宅 くろしお	〒789-1931	高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号	TEL.0880-43-1023



医療法人 仁栄会
島津病院
院長 三宅 晋

〒780-0066 高知市比島町4丁目6番22号
TEL 088-823-2285 FAX 088-824-2363

